

【学習面】

- ・児童アンケート「学校の授業は楽しいですか。」の項目は昨年度同様に肯定的意見が9割弱と高評価でした。今年度は、昨年度中止した学校行事の音楽発表会や持久走大会、PTA主催の「藤っ子祭り」を実施することができました。また、児童会活動として縦割りグループ遊び(1～6年生が混ざった班)、体育で取り組んだ長縄週間等の活動も再開しました。いずれの取り組みも児童が大変意欲的に取り組む場面が多くみられました。これらを、更にお互いを高めあう学びにつなげていきたいと考えます。
- ・保護者アンケート「子どもは学習の基礎・基本(計算や漢字等)の力がついている」の項目は昨年度とほぼ同じでしたが、「学校は子どもたちに学習しようとする意欲を育てている」の項目は昨年度より10ポイント肯定的意見が下がりました。学習意欲を高めるために、学ぶ意義・社会生活との関連を意識した課題設定、効果的な学習活動を設定(個人・集団で学ぶ、授業を振り返る等)等の授業改善に取り組みます。
- ・1人1台端末の持ち帰りについては、家庭学習での利用が不十分だったり、学習以外に使用(ゲーム、動画等)されたりと課題が多くあります。次年度以降、端末の持ち帰りの期間(例 週末のみとするなど)や課題がある日のみの端末持ち帰りにする等の活用の見直しを図ります。

【生活・安全面】

- ・今後の感染症対策について、市教委より2月20日のすくすくメールで「学校内での生活の中でも、令和5年3月13日以降は、4月1日を待たずに、マスクの着用は個人や保護者の皆様の判断を尊重し、一律の着用を求めないこととします。」と配信されています。日常の健康観察、手洗い・うがい等は引き続き継続をお願いいたします。マスク着用については上記のように「各御家庭の判断に委ねる」となっております。各御家庭でお子さんとお話をいただき、マスク着用についてご判断下さい。学校や地域の感染状況によっては、マスク着用をお願いする場合があります。その際、メール等で周知いたします。ご理解、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。
- ・保護者アンケート「子どものことで学校に相談しやすい。」の項目で10ポイン

ト肯定的意見が下がりました。生徒指導上の問題、人間関係のトラブル等1つ1つの事案に親身に丁寧・迅速な対応を更に進めます。また、外部機関(スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・市教育委員会・児童相談所等)とも連携を密にし、教育相談の充実も図ります。今後も、児童・保護者の抱える悩みや困り事等に、全教職員が連携しながら積極的に対応して参ります。

【学校行事】

- ・運動会では、全学年が一同に会する形で実施できたことは良かったです。しかし、雨による中断で、できなかったプログラムを別日に実施することになりご迷惑をおかけしました。今後は、更に最新の気象情報等を活用して適切に判断し、実施して参ります。運動会の抽選入場は、今後も早朝から並ぶ保護者の負担を無くすために継続していきたいと思えます。
- ・音楽発表会は、2年ぶりに児童の歌声や合奏を保護者の方に見ていただくことができ良かったです。しかし、感染症対策のために実施した保護者の座席指定や入場の仕方に問題があると多くの保護者の方よりご意見をいただきました。次年度以降は、コロナ以前の会場設営や入場の仕方に戻したいと思えます。
- ・2年ぶりに実施した「藤っ子まつり」、子ども達は大いに楽しみました。PTA本部・係・関係機関等の皆様の御尽力に御礼を申し上げます。

【学校・家庭・地域連携】

- ・学校運営協議会「藤心小コミュニティ・スクール」では、今年度「朝サポート先生(1年生)」「昔遊びサポート(1年生)」「畑サポート先生(2年生)」「新規の朝の横断歩道での見守り活動」等が2学期以降スタートしました。また、「親子体験農園」の事業計画が提案され、参加者の募集を行いました。更に、次年度の取り組み案として、のこぎりや金づちを使う授業のサポートとしての「工作サポート先生」、昼休みに校庭で遊ぶ子ども達を見守る「昼サポート先生」などの要望について検討しています。日常の学校教育活動に地域の方々や保護者の方々の支援が加わることで教育効果は大きいものがあると考えています。これからの学校としての姿は、学校・家庭・地域が、今まで以上に互いに協力し合う共同体として更に、連携・協力を推進して参ります。

※アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後の学校運営に生かして参ります。

※裏面のグラフもご覧下さい